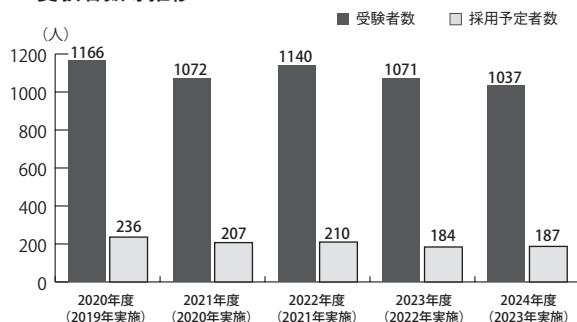


徳島県

面積	4,147 km ²
人口	685,357 人
県の花	すだちの花
県の木	やまもも
県の鳥	しらさぎ

求める教員像	「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員
出願期間	公開日 3月中旬 電子申請 5月9日(木) 10:00~5月27日(月) 17:00
試験日程	1次試験 試験日 筆記:7月20日(土) 実技:7月21日(日) 合格発表日 8月5日(月) 2次試験 試験日 8月16日(金)~23日(金)の指定した日 合格発表日 9月18日(水)
年齢制限	年齢制限 昭和40年4月2日以降に生まれた者。ただし、特別選考③は昭和50年4月2日以降に生まれた者
募集教科	[小] [中] 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 [高] 国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 保健体育, 音楽, 美術, 書道, 英語, 家庭, 情報, 農業, 商業, 工業(機械, 電気, 建築, 土木, 工業デザイン, 工業化学), 看護, 福祉 [特] 医療的ケア(自立活動)担当 (小) 視覚障がい領域, 聴覚障がい領域, 知的障がい・肢体不自由・病弱領域 (中高) 視覚障がい領域, 聴覚障がい領域, 知的障がい・肢体不自由・病弱領域 [養] [栄]
特記事項	<p>■特別選考 ①社会人を対象とした選考 ア. 民間企業等で3年以上正規社員として勤務し、出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者は、1次の論文を免除。イ. [中] 技術 [中・高] 音楽, 美術, 家庭, 英語 [高] 情報, 農業, 工業, 商業, 看護, 福祉 [特] 医療的ケア(自立活動)担当志願者で、特別免許状の取得条件を満たす者は、1次の論文を免除。②本県での教職経験を有する者を対象とした選考又は現職教員を対象とした選考 ア. 介護, 育児, 家族の転勤等による転居を理由に本県教員を退職した者は、1次を免除。イ. ア以外の理由で本県教員を退職した者は、1次の論文を免除。ウ. 国公立学校で2年以上の実勤務のある現職教員は、1次を免除。③スポーツ特別選考 [中・高] 保健体育志願者で、ア. 平成31年4月1日以降に国際大会日本代表等の実績を有する者は、1次を免除。イ. 全国大会入賞等の実績を有する者は、1次の論文を免除。④臨時教員に係る特別選考 本県の臨時教員等として規定の勤務実績がある者は、1次の論文を免除。⑤大学・大学院推薦による特別選考 1次の論文を免除。⑥英語特別選考 [中・高] 英語志願者で、一定の要件を満たす者は、1次を免除。⑦前年度の選考審査結果による選考 前年度及び前々年度の2次結果通知において特別選考⑦該当として通知を受けた者のうち、⑦ア, ⑦イ該当者は1次を免除、⑦ウ該当者は1次の論文を免除。</p> <p>■採用候補者名簿(B)に記載された者を対象とした選考 前年度試験の採用候補者名簿(B)登載者は、1次を免除。</p> <p>■身体に障がいのある者を対象とした選考 障がいの種類・程度に応じた配慮を行う。</p>

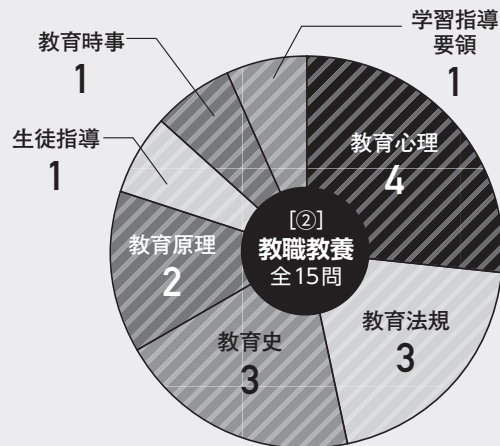
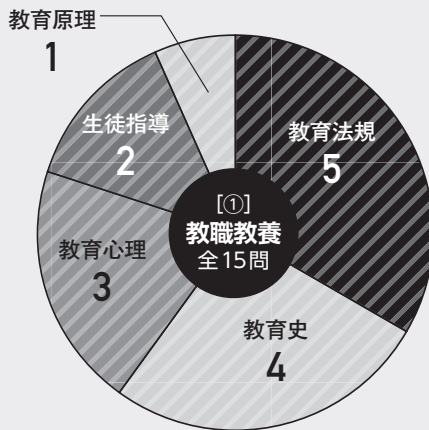
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	2,393	513	25
不登校(人)	477	1,088	171

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



- ▶ 頻出の生徒指導提要
- ▶ 法規は教育基本法と地方公務員法(服務)
- ▶ 幅広い領域から出題される教育心理

徳島県では今年度、2種類の〈教職教養〉の試験が実施された。

1つ目の試験のうち、**生徒指導**では、体罰に関する問題が出題された。

教育法規では教育基本法と地方公務員法(服務)が頻出である。ここでは教育基本法第4条、地方公務員法第31、33条が、それぞれ問われた。このほか、教育公務員特例法や学校教育法施行規則、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律等も出題されている。

教育心理ではさまざまな領域から出題されており、今年度は心理療法(ロジャーズの提唱した来談者中心療法)、発達(モロー反射)、適応機制(退行)、学習(プラトー)を問う問題がみられた。

教育史のうち、西洋教育史ではロック、シュプラングー等と著書の組み合わせ問題が、日本教育史では綜芸種智院や伊沢修二を問う問題のほか、1871年に設置された文部省と学制を回答させる問題が、それぞれ出題された。

2つ目の試験のうち、**学習指導要領**では、各学校の教育課程の基準として文部科学大臣が公示するものを回答させる問題がみられた。

教育原理(情報教育等)では、「教育の情報化に関する手引(追補版)」(2020年)から情報活用能力に関する問題が出題された。**生徒指導**では、「生徒指導提要」から不登校の定義を問う問題が出題された。

教育時事では、「第3次学校安全の推進に関する計画」(2022年)に関する問題が出題された。

教育法規では、頻出の地方公務員法(服務)から第30条の理解を問う問題が出題された。このほか、学校教育法施行規則や子ども基本法も出題されている。

教育心理では幅広い領域から出題されており、今年度は心理療法(箱庭療法、行動療法)、発達(インプリンティング)、適応機制(合理化、昇華)、教育評価(個人内評価)が問われた。

教育史のうち、西洋教育史ではキルパトリック等、日本教育史では足利学校や金沢文庫、古義堂等の理解を問う問題が出題された。